

平成22年1月18日

顧問先各位

戸田会計事務所  
所長 戸田裕陽

## 知らないと損をする融資の受け方

貸し渋り、貸し剥がしにあわないために

ピーク時に全国に45万人いた銀行員の数が、バブル崩壊を経て20万人も減り、企業から提出された不備だらけの書類を以前のようにカバーできる人的余裕はなくなり稟議が通りにくく、さらに最近の厳しい金融情勢により融資が一段と受けにくくなっている現状があります。

### ◆ 銀行が融資を断る要因

- ① 金融情勢による要因
- ② 銀行または支店の経営方針による要因
- ③ 銀行の融資担当者の実力による要因
- ④ 企業側の要因（収益力、債務超過、未払税金等）

### ◆ 銀行から貸し渋りにあわない書類の書き方

- ① 全体的に“つじつま”はあっているか？
- ② 借りたお金は何に使うのか？
- ③ 返済はできそうなのか？（返済可能利益の確保）
- ④ 会社は利益がでるのか？

### ◆ 銀行は決算書のどこをみるのか？

- ① 売上・売上規模。業種を考慮して企業の規模感を判断する。
- ② 税引後利益・赤字かどうか？赤字であればその原因は何か？ 解決策はみえるか？
- ③ 借入金・対売上、対利益比でどれくらい借入金があるのか？ 売上・利益に対する借入金額が大きく、返済に不安があるか？
- ④ 固定資産・土地、建物の有無。（遊休資産の存在）
- ⑤ 資本金・赤字の場合、債務超過になるかどうか？ 3期連続の赤字は避けたいものです。

### ◆ 銀行が最も重視するポイントとは？

- ① 事業計画書・返済を意識した内容になっているかどうか？
- ② 返済をなにより重要視・“返済できますよ”と示されていないければ不十分な書類となります。1年間の返済可能額 > 税引後利益 + 減価償却費
- ③ 経営者の人柄・誠実さ、事業意欲。
- ④ 預金取引量の寡多（結構重視されます）

### ◆ 銀行が最も嫌う科目“貸付金”

銀行から借りたお金を他人（法人を含む）にまた貸ししていることを物語る勘定科目で、融資資金の用途を逸脱しています。また、法人税・消費税・源泉税等の未払税金、未払社会保険料は融資を断られる要因になります。

### ◆ 最後に

借入し易い順番は、**信用組合** ⇒ **信用金庫** ⇒ **地方銀行** ⇒ **メガバンク** となります。上記の順番で審査が厳しくなり、借入できる可能性は小さくなります。そして、返済は一度たりとも怠らいこと、また言うまでもなく提出書類の虚偽記載はしないことです。